

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	育てたい資質・能力	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 ・持続可能な社会の創り手（高山の未来を担う人材）の育成 ・郷土教育・キャリア教育・ICT教育・プレゼン教育	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXをとり入れた教育の推進 ③学校の地域・関係団体等との協働による郷土教育の推進 ②子どもの自己実現を支える教育の推進 ①豊かな心、健康な体力、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付け、学び続ける子の育成	I 自主 C 創造 C 協同 自ら問いを立て、他者と共によりよいものを創り出す	自ら探求する力（自分の取組を振り返り、つぎに向かう力）	自己の探究	① 安心して生活できる一人ひとりの居場所づくり ②	・ネットワーク会議等で、どの生徒にも居場所となる場所ができるようにする。（校内支援センターの利用、外部機関等とのつながっている生徒100%）		
					① 互いのよさや違いを認め合える絆づくり ②	・年間を通じた人権教育を実施し、一人ひとりが尊重される社会について考える場を年間複数回実施する。		
					① やりたいことにチャレンジできる場の設定 ② ③	・日枝LIVE、夏休みの探究活動など、やりたいことにチャレンジできる場を年に複数回設定する。		
				まなびの探究	① 各教科における「自ら探求する姿」を育成する授業の創造	・「自ら探求する姿」を育成する学び方の評価について、全教科で実施する。		
					① 個に応じた指導の工夫 ④	・生徒が自分の学びを選択し課題解決ができるよう、複数の学び方を設定し選択する経験を積ませる。		
					① 学習カウンセリングの充実 ②	・学習が苦手な生徒に対し、学習の困り感などを聞き取り、一人でも学べる力をつける。（家庭学習習慣の向上）		
				郷土の探究	① 一人ひとりの興味・関心に応じたカリキュラムの工夫 ③	・総合的な学習の時間において、各自の問いを明確に設定する。		
					① 地域に笑顔を広げるボランティア ③ ④	・まちづくり協議会の方等から直接、生徒に働きかけてもらう場を設定する。（前年度からボランティア参加生徒数の増加）		
					① 地域とつながる主体的な生徒会活動 ② ③	・ひまわり活動や日枝LIVEなど、生徒会の活動に地域の方を積極的に呼び込めるようにする。		
				教職員の構え	⑤ 資質・指導力の向上	・研修主事を核とした学び合い文化の醸成（自主的な学び合い、ニーズに応じた学び合いの実施）		
					⑤ 働き方改革の推進	・一人ひとりのタイムマネジメント力を高める。 ・80時間超えゼロ、1年間の平均45時間以内を目指す。		